

かけはし

保護者アンケートの結果について

昨年12月に保護者の皆様から「沖代小学校の教育活動や家庭教育に関するアンケート」をとらせて頂きました。全ての結果については、2月28日(木)の学年末PTAの時の資料として配布します。また、子どもたちには、学校生活のアンケートを7月と12月の2回行いました。それと併せて配布します。

この「かけはし」では、その一部だけお知らせします。

<保護者アンケートより>

3 友だちや自分を大切に、いじめや差別をゆるさない実践

① 沖代小では子どもの人権を大切にされた教育活動を行っている

している 41%	ある程度している 45%		
29%	35%		

② 沖代小ではいじめや不登校のない学校づくりに努めている

40%	43%		
28%	53%		

③ 家庭では、お子さんに身の回りの差別や物事の善悪について話している

52%	42%		
53%	42%		

④ 家庭では、お子さんに友だちのよさを認めることや友だちを大切にしなければならないことを教えていますか

65%	32%		
59%	36%		

義務教育である学校の目的は、知・徳・体のバランスのとれた教育を行い、安心して信頼して子どもを託す場でなければなりません。

右のグラフは、上段が今年度、下段が昨年度のアンケート結果を載せています。保護者の方から頂いた結果は、学校に対して、昨年度より今年度の方が少し肯定的な回答でした。

しかし、①と②での「あまりしていない」、「していない」と「無記入」をあわせると①では11%の方、②では、17%の方、人数にすると50名から80名の方になります。学校としては、この数値を重く受け止めたいと思います。

知・徳・体の「徳」の教育については、本校だけではなく、全国的な課題だと考えています。子どもたちにとって安心して信頼できる学校づくりに努めていきたいと考えます。

～社会力を育てる～

いじめ、暴力、キレる等様々な問題行動の根底にあるものは、人とかかわる力の未熟さといっても過言ではありません。自分たちの子どもの頃を思い出してください。テレビゲームもないから、人と遊ぶしかなかったと思います。人と遊ぶためには嫌でも我慢しなければならないこともありました。しかし、我慢すれば、楽しいこともあったはず。その中で、楽しくするためには、少々の我慢も必要だという感覚を自然に身につけたものです。

しかし、現在の子どもの中には、我慢したら楽しいという感覚は想像できません。人と関わると楽しいことがあるという感覚が育っていないので、肝心の他人と関わりたいという意欲が欠落していくこととなります。相手とコミュニケーションしたいと思わなければ、いくら他者と関わる訓練をしても役にはたちません。大切なのはスキル(技能)を訓練する疑似体験ではなく、自発的な思いが育つ実体験です。例えば、電車で老人に席をゆずる。ドキドキしたがやってみたらとてもよい気持ちだった。こんな人間関係の成功体験を積み重ねることが大切なことだと思われまます。

本校においては、縦割りの班活動をずっと行っています。この中で、班長になる6年生は、自分に何ができるのか、子どもたち自身で考えさせることを基本にしてきました。自分で考えたことが縦割り掃除や縦割り集会の中で自分たちのチームが喜んでもらったという経験の積み重ねが自己有用感を育むこととなります。

インフルエンザは0になりましたが・・・

少し暖かくなり、大分県や中津市のインフルエンザは下火になりました。本校においても、学級閉鎖や学年閉鎖をすることもなく、現在インフルエンザにかかっている子どもは0になりました。しかし、まだ油断できませんので、手洗い、うがい、マスク等必要があればさせるようにお願いします。また、十分な睡眠や栄養補給も必要です。家庭での指導もよろしくお願いいたします。

「自分の仕事に責任を持とう！」

学校には、給食当番や掃除、係、委員会などたくさんの仕事があります。大変な時もあります。でも、周りの人の「ありがとう」という言葉や励ましの言葉があるとがんばってやり遂げることができます。そして、自信につながります。今後も子どもたちに、感謝や励ましの言葉をかけていきます。



家庭でも、子どもたちの仕事があると思います。家族の一員として、自分にできることをみつけ、進んでやろうとしたり、働く喜びや大変さを感じ取り、働くことの大切さを考えたりする良い場だと思います。ご家庭でも、声かけをお願いします。

子どもたちの安全のために

○登下校の安全

①登校時刻が守れているでしょうか。

朝食をしっかり食べ、時間にもゆとりを持って登校させてください。

②決められた通学路を登下校できているでしょうか。

③歩道から車道へ飛び出ることなく、安全に気をつけて歩いているでしょうか。

④下校後、友だちの家に行く場合、一度自宅に帰れているでしょうか。

行き場所を家族にきちんと伝えているでしょうか。

⑤信号の合図をきちんと見て、左右の安全を確認して横断しているでしょうか。

⑥横断歩道をきちんと渡っているでしょうか。



誰もが、これまで「ひやり！」とした経験があると思います。『ヒヤリ・ハット』という言葉をご存じでしょうか。『ヒヤリ・ハット』とは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例をいいます。

重大な事故が発生した際には、その前に多くの『ヒヤリ・ハット』が潜んでいるそうです。結果として事故に至らないと、「ああ、よかった。」と、すぐに忘れてしまいがちです。いろいろな機会をとらえて、話題にあげて家族で話し合いたいものです。

ご家庭でも、毎日の声かけをお願いします。

○不審者対策

これからの季節、不審者の出没が多くなります。

『いかのおすし』の合言葉を子どもたちと確認しています。

『 ついて いか ない。 知らない車に のらない。』

『 おおごえで叫ぶ。 すぐ逃げる。 しらせる。 』

また、

①一人で帰らない

②寄り道をしない

③人通りの多い所を通る

ことも学校で指導しています。ご家庭でも声かけをお願いします。

